

住民監査請求を棄却

松江市庁舎 団体は近く提訴

松江市役所本庁舎（松江市末次町）の現地建て替え事業を巡り、市監査委員が3日、約150億円の事業費の支出は不当だとして公金支出の執行停止などを市に勧告するよう求めた市民団体代表の住民監査請求を棄却した。団体側は近く、住民訴訟を起こす。

請求したのは市民団体「松江を考える会」の古志

勝俊代表世話人と錦織伸行代表世話人で、現地建て替えと移転新築を比較検討した形跡がなく、政策決定の過程が明確でないと主張。事業費が当初見込み額から30億円増えた理由も不透明で、支出は不当だと訴えた。これに対し、監査委員は、現地建て替えは耐震診断などの各種調査結果を基に検討したもので、市議会の議

事録やパブリックコメント（意見公募）にも移転新築すべきとの積極的な意見はなかったとして、違法性や不当な点はないと判断。事業費の変動も積算方法の違いや建設コストの高騰が理由だと市議会で説明され、市報などで広く市民にも周知されているとし、批判は当たらないとした。

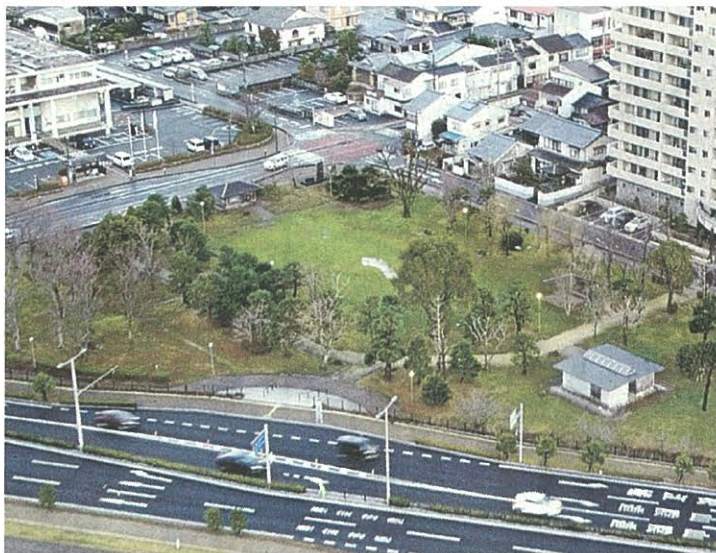
請求棄却を受け、錦織氏は「訴えが認められず残念だ。今後、司法の場で争っていく」と話した。

（久保田康之）

末次公園が5年間駐車場に

松江市役所建て替え工事 芝生を舗装 子育て世代反発

松江市役所本庁舎(松江
市末次町)の現地で建て替え
工事期間中の来庁者用仮設
芝生に伴い、近くにある末
次公園の芝生広場(約16
00平方メートル)が2月1日か
ら5年近く使えなくなる。



仮設駐車場となる末次公園の芝生広場(中央)。
左上が松江市役所本庁舎—松江市末次町



住民が反発の声を上げる。
市の計画によると、庁舎
の建て替えは3期に分け、3月
から末次湖側の駐車場敷地に新
庁舎の南側半分を建てる1期工
事に着手。2023年春から25
年秋までの2期工事、残る半
分の駐車場を建てる。この間、
現在の駐車場の大部分が使えな
くなるため、末次公園の芝

松江市役所本庁舎を建て
替えるための準備工事が30
日、同市末次町の現地で始
まった。駐輪場スペースの
移設や植栽の撤去などを進
めて来庁者用の駐車場を確

準備工事に着手 駐輪場移設や植栽撤去

市は今月に入ってから3度、
公民館関係者や周辺住民を
対象に説明会を開いたが、
周知不足との声は根強い。
小学1年と2歳の息子が
いる同市東茶町の自営業石
橋正章さん(39)は理絵さん
(S)への投稿で芝生公園が
舗装されることを知り「非
常に重要なことで、もっと
早い時期に周知すべきだっ
た。住民の意見を聞き取る
場も設けてほしい」と
憤る。

周辺には民間の駐車場が
多くあるものの、市の試算
では51台分を確保するには
仮設駐車場整備費の約2倍
の3千万円が必要となる。
一方、「周辺の子どもたち
にとっての5年間と費用は
天秤にかけられない」(理
絵さん)とする意見も。市
役所駐車場はかねて来庁目
的ではない人が連日のよう
に利用していることも問題
視されており、住民たちが
やりきれなさを抱えてい
る。

(佐々木一全)



仮設駐車場の屋根を支える鉄パイプを打ち
込む工事請負業者—松江市末次町、市役所

基礎工事を実施。末次公
園内に設ける仮設駐車場を
含め、新たに確保した駐車
スペースは3月8日に使用
を始める。
準備工事に立ち会った市
新庁舎整備課の岡田等課長
は「ご不便をお掛けするが、
来庁者が困らないよう利便
性に配慮しながら安全に工
事を進めていく」と述べ、
理解を求めた。
市によると、新庁舎は地

(久保田康之)

請負契約を可決

説明不足と一部議員反対

松江市役所 建て替え

松江市役所本庁舎（松江
市末次町）の建て替え事業
を巡り、市議会が22日、新
庁舎の建設などに関する
3件の請負契約の締結議案
を賛成多数で可決した。一
部議員は市の説明不足な

どを指摘し、1人が反対し
た。

本会議で共産党市議団
（3人）の橘祥朗議員は、
総額150億円の事業費や
建て替え場所の選定に関す
る市民との対話が不十分
で、幅広い住民の合意が得
られていないと主張。「市
民の声を聞くことなく着工
を強行すれば、市政への不
信を広げることになる」と

述べた。同市議団の3人は
採決を棄権した。

反対した無会派の出川桃
子議員は、地下水が流れ込
むといった不確定要素があ
り、事業費がさらに増える
可能性がある」と指摘。請負
額が税込みで90億円を超え
る議案にもかかわらず契約
書案の説明がなく、議会の
チェック機能が果たせない
ほか、増額した場合の負担
と責任の所在も不透明だと
して「判断材料が十分とは
言えない」と訴えた。

一方、最大会派の松政ク
ラブ（15人）の森脇勇人議

員は「予定価格の範囲内で
の適切な契約だと認め、賛
成する。請負業者には地域
経済に波及するよう努力を
望む」と強調した。松政ク
ラブのほか、真政クラブ（5人）、
公明クラブ（4人）、市民
クラブ（同）、友愛クラブ
（2人）の各議員が賛成し
た。

可決された請負契約は、
現庁舎の解体と新庁舎の建
設▽電気設備工事▽機械設
備工事―の3件で、いずれ
も市内業者でつくる特別共
同企業体（JV）が受注し
た。（久保田康之）



—— 記者回顧 2020

〈3〉

教授などをつくる「松江市民のための新庁舎建設を求める会」(代表・片岡佳美 島根大教授)のメンバー3人。求めたのは、本庁舎の建て替え阻止ではなく、一度立ち止まり、市の事業計画に対する民意を住民投票で確認することだった。

実際、取材を進めると、

現地で建て替えることになった理由や、150億円もの事業規模に至った経緯は不透明で、多くの市民が「知らなかった」「初めて聞いた」と口にする様を目の当たりにした。

だからこそ、松江市政の

団体の意見陳述を聞き終え、松浦正敬市長に受け止めるを聞く、団体の動きを指して「権利の乱用ではな

いか」と言い放った。「ある意味」でこの前置きはあったものの、民主主義の萌芽を否定するような言葉に耳を疑った。

意見陳述したのは、大学

松江市庁舎建て替え



松江市が現地建て替えを計画する市役所本庁舎—松江市末次町

メモ

松江市役所の建て替え事業。現庁舎の老朽化と耐震強度不足に伴い、現地で計画。新庁舎は地上6階、地

下1階で、総事業費を150億円、工事期間を約7年と見込む。仮設庁舎は設けず、段階的に工事を進め、完成した建物に順次、引

る」と話す市幹部もいた。市議会内でも冷めた反応が広がった。

耳疑った「権利の乱用」発言

関する条例制定を求め、島根県内全域で展開した2014年の署名活動の際には市

内だけで約3万3300人が集まっており、「意外」と少なかつたことが影響していたとみられる。

別の住民団体が脱原発に

さまざまな意見に向き合い 根気強く対話すべき

ましてや直接請求は地方

市庁舎建て替え巡り
住民監査で意見陳述
松江、市民団体代表

松江市役所本庁舎の現地
建て替え事業を巡り、総額

150億円の事業費の支出は不当として、公金支出などの執行停止を勧告する

よう市監査委員に住民監査請求した市民団体の代表が

18日、同市末次町の市役所で意見陳述した。

請求した市民有志でつくる市民団体「松江を考える会」の古志勝俊代表世話人

と錦織伸行代表世話人は、移転新築との比較検討が行

われた形跡がなく、政策決定の過程が明確でないと主張。総事業費が当初見込み

額から30億円増えた理由も

不透明で、工事期間が約7年間に及び、さらに経費が

増大する可能性がある」と指摘した。

より45台分多い計389台分の駐車場を設けると説明。設置工事は来月1月中旬以降を予定している。

(久保田康之、佐々木一全)

庁舎屋上開放しおもてなし

出雲市斐川町

遠藤 伸 61歳

10年ほど前にNPO法人出雲学研究所主催の研修旅行に参加した。行き先は奈良大和路。ちょうど平城遷都1300年祭の真つ最中で、復元された大極殿の中を見学したり、古事記を筆録した太安万侶の墓まで、長い道のりを歩いたりした思い

松江市庁舎建て替え

出がある。

旅行の行程に、奈良県

庁の屋上があり、50人ほどの団体でそろそろ上がった。屋上は観光客が上られるように設計してあり、屋上から見える若草山や東大寺、興福寺をはじめ、大和三山、古墳、遺跡、神話や歴史などを、県庁の職員が驚くほど豊富な知識で解説をしてくださった。

松江市庁舎の建て替え

について本紙でもかまび

すしく語られているが、建設費用や場所について部外者の私が意見を言うことはない。が、立派な庁舎が完成した暁には、屋上を観光に使ってもらえるような案はできないだろうか。

旅先を松江に選んで遠くから来てくださった客人へのおもてなしに、庁舎の屋上を提供し、松江城や宍道湖を眺めながら観光ガイドまでできれば最高だと思う。奈良県にできて松江にできないはずはない。

150億円の支出「不当」

松江市役所本庁舎建て替え

市民団体が住民監査請求

松江市役所本庁舎（松江市末次町）の現地建て替え事業を巡り、総額150億円

の事業費の支出は不当だとして、市内の市民団体が7日、事業執行の停止を求め、市監査委員に住民監査

を請求した。請求が退けられた場合、住民訴訟を提起するとしている。

請求したのは本庁舎の移転新築を求める市民有志でつくる「松江を考える会」の古志勝俊代表世話人と錦

織伸行代表世話人。監査結果が出るまで、公金支出や契約締結、債務負担の執行を停止することも求めた。

請求では、市が計画する建て替え事業は「最少の経費で最大の効果を挙げるよ

住民監査請求の内容を説明する錦織伸行代表世話人（左）と古志勝俊代表世話人（中央）
＝松江市末次町、市役所



うにしなければならぬ」と定めた地方自治法（2条）や、「地方公共団体の経費はその目的を達成するため必要かつ最少の限度をこえて支出してはならない」と規定する地方財政法（4条）に反すると主張。耐震改修ではなく建て替えを選

択した合理性の検討や、移転新築した場合との比較検証が不十分だと指摘している。

市役所で請求人と共に会見した代理人の和久本光弁護士は「移転新築した場合にどれくらい事業費を削減できるかは重要な考慮事項だ」と述べた。

一方、市は12月中旬に市議会の議決を経て、一般競争入札の落札業者と請負契約を結び、来年1月6日に着工する予定にしている。

市監査委員は請求要件を満たしているかどうかを審査し、受理すれば請求日から60日以内に監査を行う。

（久保田康之）

紙面編集・斉間 大輔

松江市新庁舎

「整備は違法」と、住民監査請求

市民団体 支出や契約の差し止め求める

現地建替えとする松

江市役所新庁舎の整備

事業が、地方自治法に

違反しているとして、

市民団体「松江を考え

る会」の代表世話人2

人が7日、工事に係る

「一切の公金支出、契

約締結、債務負担」の

差し止めを求め、松江

市監査委員に住民監査

請求をした。

同日、市役所で会見

を開いた代表世話人の

古志勝俊さんと錦織伸



行さんらは、違法とす

る理由について、「最

少の経費で最大の効果

をあげなければならな

い」と同法に定められ

ていると説明。「現地建

替え」ありきの計画策

定は、「行政権の裁量を

逸脱・濫用したもので

あり違法」とした。

市監査委員には、同

請求と併せて、松浦正

敬市長に対して勧告を

住民監査請求の内容に
ついて説明する（左か
ら）錦織さんと古志さ
んら7日、松江市役
所

行うよう要求。勧告内
容は、▽12月中に予定
されている新庁舎工事
の入札と工事契約締結
の中止・延期▽違法と
なる公金支出行為によ
る損害賠償の填補に必
要な措置を講じる―こ
との2点という。

同監査請求を受け付
けた市監査委員は、ま
ず請求要件を満たし
ているかどうかを審査
し、正式受理するか否
かを決定。受理されれ
ば、2月5日まで（60
日以内）に、監査結果
を公表する。

新庁舎整備計画は、
2015年に発表さ
れ、同市は、16年に整

備基本方針 18年に
整備基本構想を策定。
実施設計に基づく、工
事着工は来年1月ごろ
からとなる。計画通り
ならば、全ての工事を
終えるのは27年の予
定。

市民団体が監査請求

松江新庁舎 現行計画の中止求め

松江市が150億円かけ現地建て替えを計画する新庁舎事業について、再考を求める市民団体「松江を考える会」の共同代表、古志勝俊さん(67)らは7日、現行計画は地方財政法違反などとして、公金支出や工事契約締結の中止を求める住民監査請求を市監査委員会事務局に提出した。

新庁舎事業は2015年1月に松浦正敬市長が現地建て替え方針を表明し、同年3月に議会の方針決定を報告。しかし同会の情報公開請求によると、市内部で建設地について協議した公式記録はなく、議会への相談もなかったという。地方財政法には公共事業は最少の経費に抑えることが記され、和久本光弁護士は「移転を考慮していれば150億とは違う結果になっていた

可能性がある」と話す。監査請求は受理されれば60日以内に監査結果が示される。新庁舎事業は12月中旬に工事契約締結予定のため、古志さんらは結果が出るまでの事業停止勧告も求めた。古志さんは「請求が棄却された場合は住民訴訟を提起したい」と話す。

【前田葵】

用途限られるテラス再考を

松江市内中原町

木佐 剛典 61歳

松江市の新庁舎に設置が予定されているテラスの使い道を考えるのは相当困難な仕事になると考えます。

市民に開放したとしても、夏は暑く、冬は寒い場所では使い道は非常に限られます。強いて考えれば、テラスを緑化すれば庁舎内の温度調節に役立ち、パラソルなどを設置して憩いの広場にする

松江市庁舎建て替え

発想もあるかもしれませんが、植物の手入れが大変である上、わざわざ市庁舎のテラスへ休息に来る人がいるかどうか疑問です。

私自身テラスのあるオフィスで働いた経験がありますが、テラスは全く用途のないスペースでした。ほかには花火の参観場所に使えるかもしれませんが、勤務時間外に庁舎を開放する必要がある上、収容人数も限られます。

テラスは造った後、無用の長物になる可能性が

大です。もし今からでもテラスを省いた建物にできるなら設計を変更する方が賢明です。「戦艦大和」を造らずに済みます。

3億円眺望テラス必要？

迫る着工 問題視する意見根強く

松江市役所本庁舎（松江市末次町）の建て替え事業で、市が新庁舎に設置を計画するテラスについて市民の一部から批判の声が上がっている。市によると、新庁舎は2～6階に設けるテラスが階段状に張り出す造りが特徴の一つで、市民や観光客に開放し、眺望を楽しんでもらう考えという。だが、総事業費が150億円に上る中、3億円近い費用をかけて設置する必要はないとする意見は根強く、市は具体的な説明と対話を早期に行う必要がある。

（久保田康之）



松江市が作成した新庁舎の外観イメージ

松江市役所 建て替え

市が計画する新庁舎は地上6階、地下1階の構造で、2階に千平方メートル、3階に400平方メートル、4階に700平方メートル、5階に300平方メートル、6階に600平方メートルのテラスを設ける。主に東向きで、各階から

踏まえたという。一方、テラス設置に批判的な市民は必要性に疑問を投げ掛ける。

市議会では昨年12月、本会議で市議が「庁舎はシンブルな箱形にした方が事業費削減につながるのではないか」と質問するなど、コスト面を問題視する指摘が出た。実際、市議会新庁舎建設特別委員会（立脇通也委員長、9人）で報告された試算によると、庁舎を一般的なビル形状にした場合に比べ、事業費が約2億8千万円高くなることが判明。市が29公民館区で開いた住民説明会やその後のアンケートでも「テラスは無駄だ」「活用方法を工夫すべきだ」といった意見が上がった。

市は今後、活用方法について、ワークショップなどで市民の意見や要望を聞き、開放する時間帯やセキュリティ対策などを含めて検討する考えだが、予定する来年1月6日の着工日が迫る中、現時点で開

催時期のめどは立っていない。

市役所本庁舎の建て替え事業を巡っては、市民団体が約1万4千人分の署名を集め、着工延期の是非を問う住民投票条例案の制定を直接請求したものの、9月定例市議会でも否決された。一連の動きで事業に対する市民の関心が高まっており、市が早期に疑問の声に向き合うかが注目される。

移転新築未来像や跡地活用

ワークショップで意見交換 市に改めて再考求める



参加者と意見を交わす古志勝俊代表世話人（中央）＝松江市白濁本町、市民活動センター

松江市役所 建て替え

松江市役所本庁舎（松江市末次町）の建て替え事業を巡り、移転新築を提案する市民団体が23日、同市内でワークショップを開催した。参加した20人が、市が所有する島根県立プール跡地（松江市学園南一丁目）で建設した場合の未来像や市役所跡地の活用法について意見交換。現地での建て替えを推し進めようとする市の姿勢に改めて疑問を投げ掛け、再考を求め

た。

まちづくりに関心を持つてもらうと、市民有志でつくる「松江を考える会」（古志勝俊、錦織伸行代表世話人）が企画した。

参加者は4～5人のグループに分かれて意見を発表した。JR松江駅に近い県立プール跡地は交通アクセスの面で利点があるほか、くにびきメッセや市総合体育館が周辺にあり、災害発生時に他の近隣施設と連携した有効活用が期待できるとの意見が出た。

本庁舎が移転した場合の跡地利用については、観光

拠点となる施設整備を望む声が多く上がった。中には若者が交流する水と緑のテーマパークを求める具体的な提案もあった。

参加した松江市大正町の会社員桑谷佑さん（39）は「それぞれが自由な意見を出し合い、刺激を受けた。今後も勉強会に参加して、市政の動きを注視したい」と話した。

事業を巡っては、現地建て替えを進めようとする市に対し、別の市民団体（現在は解散）が着工延期の是非を問う住民投票条例案の制定を直接請求したが、先月、市議会会で否決された。市や市議会と民意に乖離があるとの声が多くする中、市は来年1月に着工する予定を示している。

次回ワークショップは29日午前10時、市民活動センター（松江市白濁本町）で開き、この日出した意見を深掘りする。参加無料で定員40人。希望者は事前に申し込む。

申し込みや問い合わせは松江を考える会の錦織伸行代表世話人、電話080（1929）1496。

（久保田康之）

1万4千超える署名の意味

松江市鹿島町

権田 喜作 70歳

魚市場に鮮魚を運ぶ運転手さんの話である。

米子の魚市場へトラックで乗りつけると、荷降ろし前に「魚、今日は何がある？」と買い受け人がどつと駆け寄って矢継ぎ早に聞いてくる。中にはわれ先にと荷台に上りお目当ての魚の品定めをする人も。活気ある米子

松江市庁舎建て替え

商人の気質を感じたという。

一方、松江の市場では到着のトラックの周りに人は集まるが、出雲人らしく荷が降りるのを見守る。いわば慌てず騒がず待ちの姿勢。まさに「殿様商売」なのかと受け止めたとのことだ。

これは商都米子と城下町松江人を土地柄の違いを表した興味深い話である。

さて、このたびの松江市庁舎建て替えを巡る署

名活動の高まりには正直驚いた。穏やかな城下町の気風に風穴が開いた感がある。市民意識のうねりは折からのコロナ禍と無縁ではなさそうだ。ストレスが常態となった不安社会の中で、足元の生活とは懸け離れた予算規模への疑義は当然と言える。

来年には選挙が迫る。

望むは、より豊かな生活↓そのためにはリーダーが必要↓そのために選挙がある。1万4千を超え署名のメッセージが何を伝えたか、私たちに与えられた課題でもある。

市や議会の対応にがっかり

松江市乃木福富町

舟木 敏子 72歳

松江市役所の建て替え

については、現在地でなくともよいのではないかと、建物の構造についてもおかしいなと思ってた。150億円もの大金をかける必要があるのかなとも。しかし、どこで

松江市庁舎建て替え

どのように意思表示をするのか、実際分からなかった。

市役所は職員、市長、市議の皆さんの仕事現場で、観光の場ではないと思う。市長さんが自分のお金で建て替えをされるなら、どうぞお好きな場所にと言えるが私たちの税金で建てるのだ。今ままで市民の意見を聞いたと言われるが実感はない。

市長や市議さんは、いまさらという考えのようだが、このたびたくさんの方の意見を聞くことができた。署名活動を起こしてくださった方たちにお礼が言いたい。

そして、1万4千人余りの署名を、「権利の乱用」と軽く扱われた市長、住民投票条例に反対された市議さんにがっかりした。これから、新しい市役所は観光地になるかもしれない。「あの問題になった市役所です」と。

市民への市議の説明不十分

松江市乃木福富町

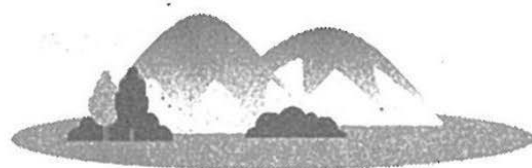
樋口 速 68歳

先月、本紙に入っていた松江市役所からの折り込みチラシに「新庁舎整備事業について改めて皆さまにお伝えしたいこと」が列記されていました。詳細にわたり概要や方向性など十分に理解できました。

新庁舎建設では現地立で替え計画に対する市民団体の活動が多く取り上げられました。私は今年

松江市庁舎建て替え

3月に本欄を通じて安全性、機能性などを配慮していただければ、現地立で替えに賛成という意見



を表明しました。

ただ気になったのは、150億円という高額な事業費です。今後、市当

局の緊縮財政の見通しが立てば、前へ進んでいくべきでしょう。

反省という点では、各市議会議員の住民への説明が希薄で遅かったことです。全市民代表の議員の方々ですので、常に情報交換は責務だと思います。以前に私の地区総会では、必ず市議（故人）の方が市政のことを丁寧に説明されていました。十分に行政と住民のパイプ役になっていただいた記憶があります。

来年に新庁舎工事が始まると思いますが、どうか市民が誇れる庁舎が完成することを願っています。

直接請求 市民の正当な権利

松江市浜乃木

杉谷 喜明 61歳

松江市庁舎建て替えについて、市民が実施前に説明と検討を要求する住民投票条例案は議会で否決されたが、この過程でさまざま学ぶことがあり大変有意義だった。最も

松江市庁舎建て替え

明快だったのは、本紙が取材した哲学者の國分功一郎氏の10月14日付記事だった。

時期がいつであろうと適切な直接請求は市民の権利であること、そして市長は市民が「権利を乱用」したと言うには法的根拠を示す必要があるとのこと、松江市長に対し、哲学者がくぎを刺し

た形になった。

哲学とは難しそうだが「どう行動するか」を考える学問である。よって、哲学者の國分氏が市民運動を支援し、市民を啓発するのは当然のことだろう。

市の説明が不十分とはいえ、行政の手続き期限が迫るこの時期に請求するのは、市長の言われる通り市民運動が迷惑行為なのかと一瞬罪悪感を感じたが、杞憂きゆうであつた。